

脱毛 施術説明・同意書

医療レーザー脱毛は、医療機関で医療従事者が取り扱える高出力の脱毛器を使用しております。毛には毛周期というサイクルがあり、成長期、退行期、休止期を繰り返しています。医療レーザー脱毛は成長期の毛のみに反応し、一回の照射で全体の約20～30%程度の成長期の毛根に効果があるため、一度で全ての毛をなくすことはできません。毛周期は個人差があり、部位や代謝機能によってそれぞれ違うため脱毛回数が異なります。

- 色素のない毛、白髪、金髪などには反応しませんのでご了承ください。
- 毛抜き、脱毛ワックス等は、脱毛効果が薄れてしまいますので、使用しないでください。
- 生理期間中は肌トラブルや痛みが強く出現しやすいため、脱毛は避けていただくことを推奨いたします。また、生理中のVIO脱毛は感染予防のためお受けできませんのでご了承ください。
- レーザー照射により、ホクロや刺青が薄くなる可能性がありますリスクがあるホクロ、入れ墨などは火傷になるため避けての照射となります。
- 火傷の原因となるため、身体照射部位に保湿クリームなど何も塗布していない状態でお越しくください。
- 脱毛当日までに、施術部位のシェービングをお願いいたします。剃り残しがある場合、その部位を避けて照射することがございますのでご了承ください。当院での剃り残しのシェービングをご希望される場合は、一部位1,100円（税込）で対応いたします。（時間内の施術になりますので広範囲にわたり未剃毛箇所がある場合は施術をお断りする可能性があります）

※VIOの剃毛サービスは実施しておりませんので、当日までにご自身でシェービングをお願いいたします。

- レーザー照射後は日常的なスキンケアと保湿を十分に行ってください。日焼けや肌への刺激を加えると、色素沈着を生じる可能性があります。治療期間中は紫外線対策を行い、肌のマッサージやピーリング、過度な運動や摩擦は控えてください。
- レーザー照射後に赤み、腫れ、毛囊炎、火傷、炎症後色素沈着、色素脱失、硬毛化、薬剤性光過敏症等を起こす場合があります。照射後、皮膚トラブルが生じた場合、受診をお願いいたします。
※診察は診療代がかかる場合がございますのでご了承ください。
- 以前にレーザーを受けられて上記のような症状が出現したことがある方は、必ず事前にお申し出ください。
- 下記に該当する方、既往歴・現病歴、現在内服中のお薬があれば必ず事前にお申し出をお願いいたします。
- リウマチ治療にて金製剤による治療歴がある方、過度な日焼けをされている方、光アレルギーの方、尋常性白斑の方、妊娠中の方、てんかん・癌・感染症を有病にお持ちの方、金の糸が入っている方は施術をお断りしております。また、治療部位に傷や皮膚腫瘍がある方、ペースメーカーや除細動器を入れている方、金属やシリコンがある方は治療がお受けできません。
- 日焼けをされた方（スキントーンが暗い方）、お肌の乾燥が強い方、ケロイド体質の方、単純ヘルペスの活動病変がある方、心臓疾患のある方、出血性疾患のある方、糖尿病の方、授乳中の方、リウマチの既往歴がある方は治療が受けられない場合があります。
- ステロイドのアレルギーがある方、ご使用を控えたい方は事前にお申し出ください。
- 授乳中の方は、トラブルが起きた際に内服薬の制限があるため、出力を上げられない場合があります。
- レーザーや医療機器はいずれも精密機器です。万が一、機器にトラブルがあった際には、同日に治療を受けていただけない場合がございますのでご了承ください。

私は上記治療について説明を受け内容理解し、自分自身の意思で施術を同意します。

光過敏症の副作用を伴う可能性のある薬剤を服用されているお客様へ

光過敏症とは、光（特に紫外線やレーザーなど）に反応して皮膚に赤み、かゆみ、腫れ、水疱、色素沈着などの症状が現れる病気です。したがって、光過敏症の副作用を伴う可能性のある薬剤を最後に服用されて、2週間が経過していなければ施術を行うことができません。

そのため、私は、上記薬剤を最後に服用してから2週間が経過していることを申告いたします。もしくは、私は上記薬剤を最後に服用してから2週間が経過していませんが、本日、クリニックの医師・スタッフから、美容施術において光を使用する施術（例：レーザー、IPL等）により、現在の内服薬が光過敏症を引き起こす可能性があること、およびそれによって生じる皮膚トラブルについて説明を受けました。そのうえで、私は自己の責任においてテスト照射を受けることに同意いたします。また、テスト照射後、異常な皮膚反応がみられなかった場合に限り、本施術を行うことに同意いたします。

本施術において万が一何らかの肌トラブルや副作用が発生した場合でも、クリニックの責任を問わず、自己責任であることを理解・承諾いたします。

ステロイドの内服をされているお客様へ

現在または一定期間内にステロイド薬（例：プレドニゾロン、デキサメタゾンなど）を内服している、または、ステロイドの湿布・外用薬（例：プレドニゾロン、デキサメタゾンなど）を使用している場合、当クリニックでは安全性の観点から、光・レーザー等を用いた施術を行うことができません。

そのため、私は、上記ステロイド製剤を使用停止してから2週間が経過していることを申告いたします。

ステロイド薬の内服および外用（湿布・塗り薬）は、以下のような理由により、美容医療におけるレーザー・光治療などの施術において重大なリスクを伴う可能性があることを理解しています。

- ・肌のバリア機能の低下による過敏反応のリスク
- ・色素沈着・白斑・熱傷などの副反応のリスク増加
- ・創傷治癒遅延による肌トラブルの長期化
- ・免疫抑制状態による予期せぬ反応の可能性
- ・ステロイド外用部位への施術による局所的な炎症や色素異常のリスク

なお、今後、ステロイドの使用を中止した場合でも、施術の可否については医師の判断に従い、必要に応じて一定の経過観察期間を設けることがあることを理解・承諾いたします。

年 月 日 氏名